

令和4年度 第1回学校評議員会

1 期日 令和4年6月13日（月）16:00～17:00

2 出席者

学校評議員4名 菊池司、阿部潔、若生和江、佐藤幸文

校長、副校長、事務長、総務課長、教務課長、生徒指導課長、進路指導課長、総務課員

3 学校長あいさつ

今年度もよろしくお願ひいたします。

本年度の入学生は108名、全校生徒は288名である。部活動では各部頑張っている。特にウエイトリフティングでは女子55Kgと76Kgで県大会で優勝し、東北大会、全国高総体などに出場する。明日までの中間考査後、クラスマッチも予定されている。

4 学校経営計画説明（校長）

今年度の5つの重点目標、（1）キャリア教育（2）復興教育、（3）学力向上（4）自己肯定感の伸長（5）いじめの防止 について説明。

5 スクールポリシー説明（校長）

①グラデュエーション・ポリシーとは卒業までに育成することを目指す生徒の資質・能力に関する方針であり、②カリキュラム・ポリシーは①を達成するための方法である。また③アドミッション・ポリシーで、どんな中学生を求めているかを示していく。

6 学校概要説明

各課長から資料の説明。補足は以下のとおり。

- （1）総務課 研修旅行は中止の予定である。母親委員会では、卒業生へのコサージュをプレゼントする活動を予定している。
- （2）生徒指導課 1学年6クラスの頃と部活動数は変わっていない。生徒に様々な選択肢を与えられているが、部員不足に困っている部もある。
- （3）進路指導課 就職者・進学者の割合は毎年変動する。昨年度は進学61.5%、就職38.5%であった。製造業に就く生徒が多く、北上への就職が多い。平成29年度の生徒が194名であったが、令和3年度は96名となり、生徒数は約2分の1になっている。地域への就職をもっとという要望に応えられない状況になってはいるが、今後も地域の中の学校という自覚を持って取り組んでいく。

7 質疑・意見交換・提言

（1）評議員から

いじめの早期発見・防止に努めているのはよいが、不登校の対策はどうなっているか。不登校の対策は地域でも協力していきたい。自己肯定感の育成も必要である。アドミッション・ポリシーは中学生にも読んでもらうのだから、わかりやすい、わくわくする表現にしてはどうか。また、分野の違う人とも話し合っていくことが大切である。授業研究にも、他教科の先生が参加するのは、よいことである。学校は「巻き込む力」と「巻き込まれる力」を高めて、地域と連携して行って欲しい。

(2) 評議員から

本校の鹿踊りを指導しているが、学校として地域の伝承芸能を引き継いでいく取り組みに感謝している。部は平成9年1月に岩谷堂農林高校で誕生し、統合後も活躍しているが、部員数の減少が心配である。平成17年高文祭で優勝、18年全国高文祭参加、19年韓国でも交流、29年バリ島に派遣、30年震災復興イベントに参加するなどの実績を生徒にもっと紹介して、部員を増やして欲しい。鹿踊りは8人で踊るので、各学年5人は部員が欲しい。また、地域の団体も後継者に困っているのが、後継者になって欲しい。

(3) 評議員から

事前に資料をいただいて見ていたので、岩谷堂高校の活動をよく理解できた。

15ページの資料を見て、生徒数の減少を改めて感じた。(平成29年度194名。令和3年度96名。) このままでは、岩谷堂高校は消滅してしまう。この学校に入学してよかった、ここで学んでよかったと思えるように生徒に頑張ってもらいたい。私立高校は部活動で生徒を増やしている。運動部だけではなく、文化部でも岩手県1番になれるような部を作ってはどうか。例えば、鹿踊り部を活性化したり、将棋部のような部を作ったりするのはどうか。また、進路状況は学校の通信簿だと考えて、生徒を育成して欲しい。

(4) 評議員から

中学校でテニスを指導しているが、部員数の減少は中学校でも困っていることである。学校のある地域の住民として、岩谷堂高校の生徒の登下校の様子をずっと見ているが、かなり立派になったと思う。